

野村の地は、暖かな春の日差しに野山の花が見事に咲き誇っています。まさに春爛漫の佳き日に、西予市長 管家 一夫 様をはじめ、御来賓、保護者の皆様に御臨席を賜り、本年度の入学式を挙行できますことは、新入生をはじめ教職員並びに在校生一同の大きな喜びであり厚く御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました58名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは9年間の義務教育を終え、高校入試を突破し、晴れて本校の生徒となりました。これまでのたゆまぬ努力をたたえますとともに、心より歓迎いたします。特に、昨年度からの新型コロナウイルス感染拡大に伴い、休校措置等の厳しい環境下で中学校での学びを続け、入試を経て、本日を迎えられたことに祝意を申し上げます。そして、皆さんを今日まで立派に育てられた保護者の皆様、ご家族の皆様に、心からお慶びを申し上げます。

さて、本校の今年度の教育目標は、「新しい時代をたくましく生き抜く人材の育成 ―地域とともに、未来を探究する―」です。自分の未来と地域の未来を、自らの意思と行動で切り拓く力を身に付け、地域に貢献し信頼される人間になってほしいと思います。

それでは、皆さんの高校3年間の生涯の宝として大切なものになるよう、3つのことをお願いします。

一つ目は、「学びを広げ、そして深めること」です。高校での学びは内容も量も格段に増えます。ただ、言われるままに、何とはなしに学校に来て、何とはなしに学習をするのではなく、積極的に学びを広げ深めてください。高校の学習で期待するものは、ただ教えられるままの知識や技能ではなく、私たちが生活し、仕事をし、逞しく生きるために必要とする生きた学力です。一人一台のコンピュータ端末時代が到来しました。是非、効果的に活用してほしいと思います。

二つめは、「対話をする」ことです。確かにスマートフォンやタブレット等は便利な道具の一つです。しかし、一方では若者のコミュニケーション不足を招くのでは無いかと心配する声が聞こえます。3年間で多くの友を作り、様々な活動をとoshi友人や先生方と対話をしてください。対話は、他人を思いやることにも通じます。人間が人間として生きていくためには、あたたかな人間関係がますます重要になります。是非これらのことを意識して生活してください。

三つ目は、「広く地域社会に目を向け、開かれた人間になってほしい」といくことです。本校は、勉強、部活動、地域連携活動など、三つの行動ができる学校です。特に、地域との関わりを大切にし、地域の中から多くのことを学んでください。野村高校は、地域や同窓生の熱い思いに支えられたすばらしい学校です。地域活動での体験から自己の可能性を高め、地域を支える人材に成長していったほしいと願っています。

どうか、これら三つのことを心にとどめ、有意義な高校生活を送ってください。

保護者の皆様、ご家族の皆様にお問い合わせ申し上げます。私たち教職員一同は、お子様が充実した高校生活を過ごし、大きく成長できるよう全力で指導してまいります。そして、3年後に「ここで学んでよかった」と確かに実感できよう努力をいたします。どうか本校の教育活動につきまして、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、新入生の皆さんのご活躍を心から期待して、式辞といたします。

令和3年4月8日

愛媛県立野村高等学校長 松永 泰